

FLY ANC

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- | | |
|---|--|
| <p>禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。</p> <p>分解 してはいけないことを示す記号です。</p> <p>濡れた手で扱ってはいけないこと を示す記号です。</p> <p>触れてはいけないこと を示す記号です。</p> | <p>水がかかるところ で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。</p> <p>指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。</p> <p>AC 電源アダプタをコンセントから抜いていただくこと を示す記号です。</p> |
|---|--|

警告

- ① 煙が出る場合、異常なおい匂い音がする場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
- ② 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- ③ 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ④ アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くで使用しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- ⑤ 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- ⑥ 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所では使用しない。火災・感電の原因になることがあります。
- ⑦ 交通安全のために自転車やバイク、自動車の運転中にヘッドホンを使用しない。周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。
- ⑧ 歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。交通事故の原因となります。

注意

- ① ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- ② 薬物厳禁 ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

- ① 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき → 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき → 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき → すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- ① 電池について以下のことに注意する。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- ・ 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

- ⚠ **注意**
 - ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - ・ 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
 - ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解 / 改造すること。
- ・ 本機に掲示している証明表示を消したりはがすこと。

周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

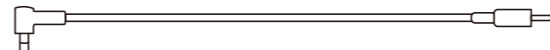
- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。



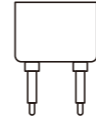
付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

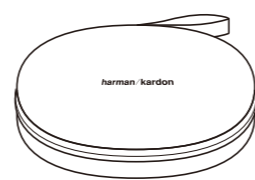
- USB 充電用ケーブル (Type A ↔ MicroUSB) : 長さ約 52cm
- オーディオケーブル : 長さ約 150cm
- フライトアダプタ
- キャリングケース
- クイックスタートガイド (多言語取扱説明書)
- 保証書
- 安全シート
- FLY ANC DOWNLOAD MY HK HEADPHONE APP.



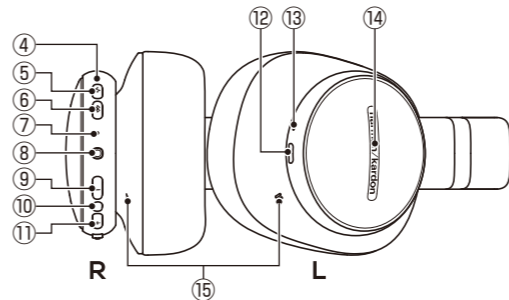
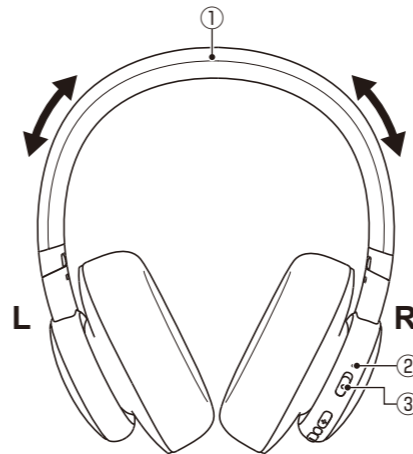
□ フライトアダプタ



□ キャリングケース



各部の名称



- ①ヘッドバンド
長さを調整してください。
- ②電源 / Bluetooth インジケータ
- ③電源スイッチ
- ④ LED インジケータ
- ⑤ ANC ボタン (ANC)
オフにすると LED インジケータが消灯します。
- ⑥ Bluetooth ボタン
- ⑦オーディオインジケータ
- ⑧オーディオケーブル端子
- ⑨音量ーボタン
- ⑩マルチファンクションボタン
- ⑪音量+ボタン
- ⑫ USB コネクター
- ⑬バッテリーインジケータ
- ⑭アクションエリア*
タッチすると Google アシスタントまたは Amazon Alexa を起動します。
※ Google アシスタントと Amazon Alexa について詳しくは、別冊の「FLY ANC App ガイド」をご覧ください。
- ⑮マイク

充電する

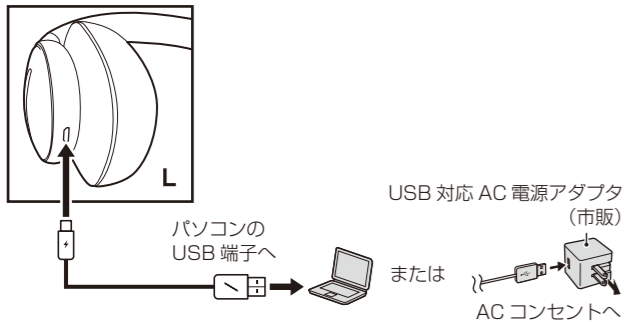
付属の USB ケーブルを使って充電します。

充電時間は、約 2 時間*です。

* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

本機は急速充電に対応しています。15 分充電すると 2.5 時間の音楽を再生することができます。

- ① 本機の電源を切る。
電源を入れている場合は、電源 /Bluetooth ボタンを上スライドして電源を切ります。
- ② 本機の USB コネクタに USB ケーブルを接続する。
オーディオケーブルが接続されている場合は、オーディオケーブルを外してください。
- ③ USB ケーブルを、お手持ちのパソコンまたは市販の USB 対応 AC 電源アダプタを使用して、コンセントに接続する。
AC 電源アダプタは、5V 1A 以下の市販品をお使いください。



- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続しても、パソコンに保存された楽曲を本機で聞くことはできません。
- 充電中は本機を使用することはできません。
- Bluetooth を使用しない場合や電池切れの際は、オーディオケーブルを接続することで通常のヘッドホンとしてお使いいただけます。

電池残量について

バッテリーインジケータの状態は以下のとおりです。

動作	インジケータの状態
バッテリー残量少	○ 白点灯
充電完了	消灯
充電中	● 赤点灯

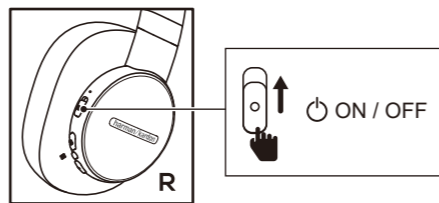
Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

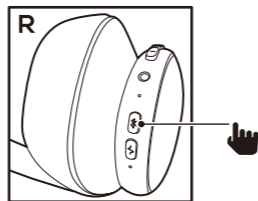
以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電源 /Bluetooth ボタンを上方向にスライドして、本機の電源を入れる。
ヘッドホンで起動音が鳴り、電源 /Bluetooth インジケータが青色に点滅します。



手動で Bluetooth 接続する場合

Bluetooth ボタンを押すと、電子音が鳴り、電源 /Bluetooth インジケータが青色に点滅します。



- ② デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
ペアリングが完了すると電子音が鳴り、電源 /Bluetooth インジケータが青色で点灯します。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「HK FLY ANC」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
• 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
• 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
ペアリングが完了すると電子音が鳴り、電源インジケータが青色で点灯します。

ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起す場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
— 多数の無線 LAN 機器があるところ、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

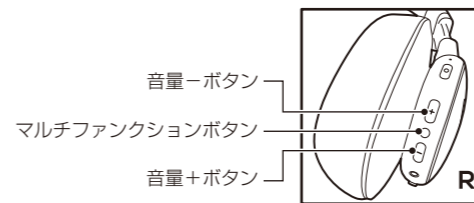
▶ 電源 /Bluetooth インジケータの状態

本機をご使用中の電源 /Bluetooth インジケータの状態は以下のとおりです。

動作	電源 /Bluetooth インジケータの状態
電源オン	☼ 2 回点滅 (白)
電源オン (Bluetooth 未接続)	○ 白点灯
電源オフ	☼ 2 回点滅 (白)
BT ペアリング	● 速い点滅 (青)
BT 接続中	● 青点灯

▶ 基本操作

Bluetooth 接続中は、本機のボタンで以下のコントロールを行うことができます。



音量+ボタン / 音量-ボタン：

押して音量を調節します。

音量+ボタンを 2 秒以上押し続けると、次の曲にスキップします。
音量-ボタンを 2 秒以上押し続けると、演奏中の曲の先頭に戻ります。曲の先頭で 2 秒以上押し続けると前の曲にバックスキップします。

マルチファンクションボタン (再生制御ボタン)：

押すごとに再生 / 一時停止します。

マルチファンクションボタン (ハンズフリーボタン)：

携帯電話・スマートホン Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。

- 着信中に 1 回押しと電話を受けます。
- 通話中に 1 回押しと電話を切ります。
- 着信中に 2 秒間押しと着信拒否します。
- 通話を終了すると着信前の曲に戻ります。

▶ Bluetooth 接続を解除する

Bluetooth 対応デバイスの「このデバイスの登録を解除」を選択してください。

▶ 本機の電源をオフにする

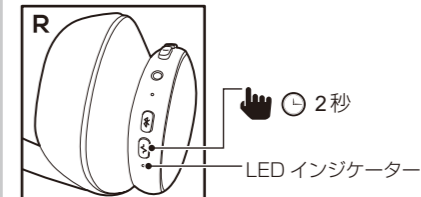
電源 /Bluetooth ボタンを上スライドします。
イヤホンから電子音が聞こえ、電源がオフになります。

ANC (アクティブノイズキャンセリング) 機能

ANC ボタンを ON にするだけで、周囲からの騒音を低減でき、飛行機や電車などが集まった場所にも、静かな環境で音楽に没頭できます。ハンズフリー通話の際にノイズに邪魔されることなく、相手と快適に会話できます。音楽が流れていない場合、ANC 付きの耳栓としても使用可能です。

- 本機の電源を入れると、ANC はオンになります。
- ANC をオフにする場合は、ANC ボタンを 2 秒以上押し続けてください。
- ANC のオン / オフは LED インジケータで確認できます。
LED インジケータの状態は以下のとおりです。

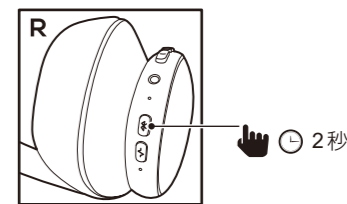
動作	LED インジケータの状態
ANC オン	○ 点灯 (白)
ANC オフ	消灯



* 本機の ANC ボタン以外でも ON/OFF の設定が可能です。詳しくは、「アプリを使用する」をご覧ください。

マルチポイント機能

本機は Bluetooth マルチポイント機能により、スマートホンやパソコンを 2 台同時に Bluetooth 接続し、待ち受け状態にしておくことができます。すでに 1 台目が Bluetooth 接続している状態で 2 台目をペアリングしたい場合は、Bluetooth ボタンを押してください。その後、接続したデバイスをペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。

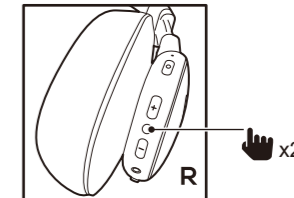


ご注意

- 電話の着信が常に優先されます。
- 音楽を切り替えるには、現在接続のデバイスで音楽を一時停止し、2 台目のデバイスで再生を選択します。
- 1 台目が Bluetooth の通信範囲外になったり電源が切れたりした場合は、2 台目を手動で再接続する必要があります。
- マルチポイント機能を切断するには、Bluetooth 対応デバイスの「このデバイスの登録を解除」を選択してください。

ボイスアシスタント機能

iPhone・スマートホン Bluetooth でハンズフリー接続しているときにマルチファンクションボタンを 2 回押しします。



お使いのデバイスの Siri などのボイスアシスタント機能が起動します。

リセットするには

音量+ボタンと音量-ボタンを同時に 5 秒間押します。設定した情報はリセットされ工場出荷時状態に戻ります。

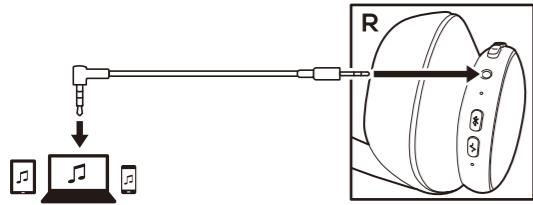
オーディオケーブルでデバイスを接続する

Bluetooth 接続を使用せずに、付属のオーディオケーブルでオーディオ機器や PC の音声出力端子 (3.5mm ステレオミニジャック) に接続し、音声を再生することができます。

ご注意

- オーディオ機器や PC の音量は低めに設定して接続してください。再生を始めると、思わぬ大音量となることがあります。
- Bluetooth 接続時にオーディオケーブルを接続した場合、オーディオケーブルの接続が優先され、Bluetooth 接続は切断されます。

- オーディオケーブルの片方のプラグ (2.5mm) を本機右耳側のオーディオケーブル端子に接続する。
USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを外してください。
- もう一方のプラグ (3.5mm ステレオミニプラグ) をオーディオ機器や PC に接続する。



- 本機のヘッドバンドの長さを調節して装着する。
- オーディオ機器・PC で再生を開始する。

飛行機内で使用する

飛行機内のイヤホン用ジャックが 3.5mm ステレオミニジャックの場合は、付属のオーディオケーブルを使って本機を接続することができます。

飛行機内のイヤホン用ジャックがデュアルジャック (2 本のプラグに対応) の場合は、付属のフライトアダプタをお使いください。

フライトアダプタ (付属)



アプリを使用する

アプリを使って、イコライザーや ANC 機能を設定することができます。

▶ アプリをインストールする

お使いのデバイスのブラウザで「My harman/kardon headphones」を検索してダウンロード・インストールします。ここでは、まだアプリは起動しないください。

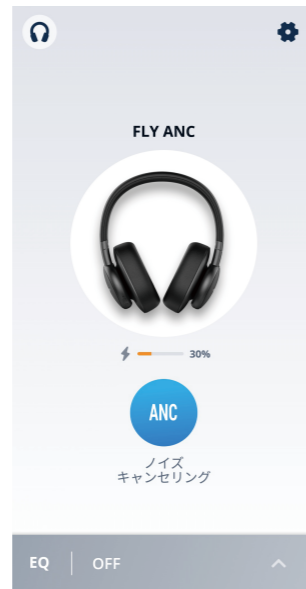
▶ Bluetooth 接続する

お買い上げ後、まだ Bluetooth 接続を行っていない場合は、まず本機とデバイスの「ペアリング」を行ってください。(詳しくは「ペアリングを行う」をご覧ください。) ペアリングを行ったら、本機の電源を切り、再度入れると自動的に Bluetooth 接続が完了することを確認してください。

▶ アプリを起動する

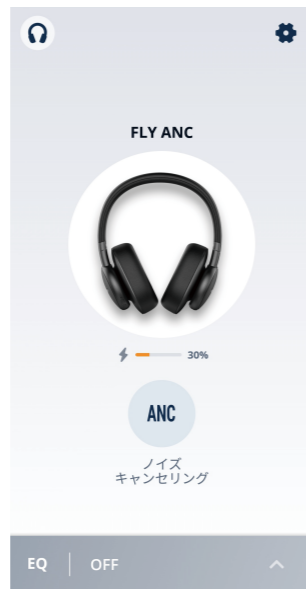
※ 画面は Android の場合の例です。

- 本機の電源を入れる。
- デバイスで My harman/kardon headphones アプリを起動する。
はじめて起動した場合は、画面の表示にしたがって操作を進めます。次のようなスタート画面が表示されます。



ANC 機能を設定する

スタート画面の「ANC」をタップすると ON/OFF できます。



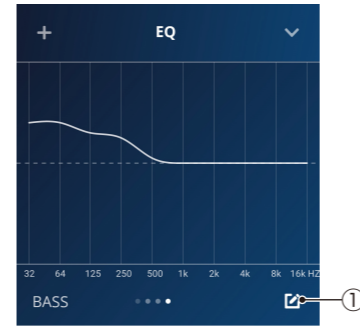
「ANC」が点灯しているときは ON、消灯しているときは OFF です。

* お買い上げ時は ON に設定されています。ANC 機能は本機の ANC ボタンでも調整可能です。詳しくは、「ANC (アクティブノイズキャンセリング) 機能」をご覧ください。

音質を調節する (イコライザー機能)

スタート画面下の「EQ」をタップすると、イコライザーの設定画面が表示されます。

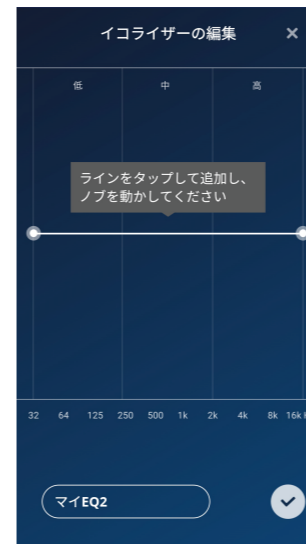
画面下の「OFF」、「JAZZ」、「VOCAL」、「BASS」から選べます。BASS をタップすると以下の画面が表示されます。



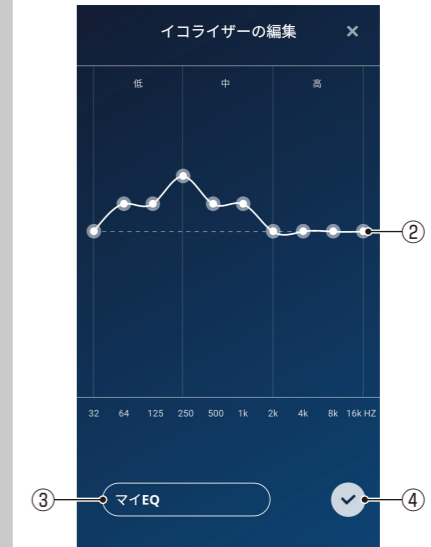
マイ EQ を作成する

イコライザーを編集してお好みのサウンドを作成、保存することができます。

- 画面右下をタップする。
「イコライザーの編集」画面が表示されます。



イコライザーは以下の調整が可能です。

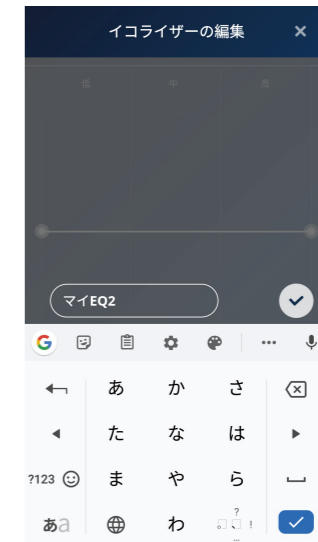


- イコライザー曲線を指で動かす。
曲線を上下に自由な位置に調整してください。イコライザーの曲線の設定は 10 か所できます。

- 名称をつける。
初期設定は「マイ EQ」です。初期設定のまま 2 つ目を保存した場合は「マイ EQ2」になります。それ以降も 3456.. が自動で割り当てられます。

名称を入力する場合

「マイ EQ」のテキストボックスをタップすると以下の画面が表示されます。



スマートホンのキーボードを使って文字を入力できます。

- イコライザーを設定したらタップする。
設定した情報が保存されます。

保存したイコライザーを使用する場合
作成した名称をタップしてください。

トラブルシューティング

症状	解決法
電源スイッチをスライドしても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	音源のデバイスと Bluetooth でペアリングされているかご確認ください。
	Bluetooth デバイスの音量をご確認ください。
ペアリングできない。	Bluetooth デバイスの再生が一時停止になっていないかご確認ください。
	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。
	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 Bluetooth ワイヤレス
周波数特性	16Hz - 22kHz
感度	100dB SPL/V
インピーダンス	32 Ω (有線接続時)
Bluetooth	4.2
伝送範囲	Class2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP V1.3、AVRCP V1.5、HFP V1.6
充電時間	約 2 時間
連続使用時間 (音楽再生時) *	約 20 時間 (Bluetooth オン、ANC オン時) 約 30 時間 (Bluetooth オン、ANC オフ時)
質量	約 281g

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。充電・再生時間は使用環境によって異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたり、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

※ 電池を保護するため、半年に一度は充電を行うことをおすすめします。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

▶ 本機の廃棄について



本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。
本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ 製品に関するお問い合わせ

<https://jp.harmanardon.com/support-product.html>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間: 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Harman Kardon は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
- iPod, iPad, iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 本取扱説明書では、® および TM 表記を省略しています。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2019 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.